

## 第219回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時: 2009年3月24日(火) 13時~17時55分

会場: 東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) [アクセス](#)  
[千葉県野田市山崎2641、電話: 04-7121-1501、交通: 東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩15分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

### 講演主題: 食品分析におけるHPLC、LC/MSの現状

食品にまつわる話題が多い中、分析対象となる化合物種は増え続けています。HPLC、LC/MSは多様な化合物の分析手段として大きな可能性を秘めており、食品分析で果たす役割は大きくなると思われます。本例会では、食品分析におけるHPLC、LC/MSの現状についてご講演いただきます。

#### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)  
(和光純薬工業(株)) 瀧内邦雄
2. 食品中のカビ毒分析におけるHPLCとLC/MS/MS (13:05~13:50)  
(東京都健康安全研究センター) 田端節子
3. 食品中残留農薬・医薬品の分析例 LC/MS/MS法 (13:50~14:15)  
(和光純薬工業(株)) 吉田貴三子
4. 食品中残留農薬迅速一斉分析への応用 (14:15~14:40)  
((株)アイスティサイエンス) 谷澤春奈
5. UHPLCによるジャガイモ中の $\alpha$ -ソラニンおよび $\alpha$ -チャコニン分析の迅速化 (14:40~15:05)  
(日本ダイオネクス(株)) 北川幹也
6. HPLCによる食品中の「甘み」分析 (15:05~15:30)  
((株)島津製作所) 三上博久、渡邊京子
- 休憩 (15:30~15:50)
7. 食品成分(糖・有機酸・アミノ酸)のラベル化分析 (15:50~16:15)  
((株)日立ハイテクノロジーズ) 石川昌子
8. H新イオン源搭載 Agilent 6460 Triple Quadrupole LC/MSによる超高感度 食品残留分析の紹介(16:15~16:40)  
(アジレント・テクノロジー(株)) 滝埜昌彦
9. HPLCによる食品成分の分析 (15:05~15:30)  
(昭和電工(株)) 香川英次
10. 食品中成分の分離分析における自動化、短時間化、省力化方法への提案 (17:05~17:30)

11. 総括: 食品分析におけるLCとLC-MSの可能性 (17:30~17:55)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:4,000円、  
学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

---

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい。

参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm\\_tanaka@isac.or.jp](mailto:hm_tanaka@isac.or.jp)]

---